

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 |使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	亀岡大井町ストックヤード【整備棟棟】	階数	地上1F
建設地	京都府亀岡市大井町	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条地域	平均居住人員	20人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2017年1月 竣工	評価の実施日	2017年1月21日
敷地面積	7,723 m ²	作成者	石原一豊
建築面積	2,052 m ²	確認日	2017年1月21日
延床面積	2,050 m ²	確認者	石原一豊

外観パース等
 写真等が付く場合は
 シートの裏表を参照してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	64%
③上記+②以外の	64%
④上記+	64%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項	
総合	その他
屋根材には熱を吸収しにくい色彩とした。また、可能な部分には緑地を設けた。	0
Q1 室内環境 屋根材には断熱材を設けた。建物の高さを抑え、空調換気効率に配慮した。 照明器具は作業エリア毎切替られる計画とした	Q2 サービス性能 将来作業エリアの変更に対応できるよう、柱の無い空間とした。
Q3 室外環境 (敷地内) 可能な限り緑地を設けた。建物の高さを抑え、色彩は無彩色を基調とし周囲の調和に配慮した。	
LR1 エネルギー 省エネルギー法の基準を満たす設計とした。	LR2 資源・マテリアル 衛生設備は節水対応品とした。割栗石や路盤には再生材を使用した。
	LR3 敷地外環境 屋外照明は作業上必要最小限の器具数とした。建物の高さを抑え周囲に日影の影響が少ない設計とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される